

日本畜産環境学会会員の皆様

拝啓

猛暑の中、会員の皆様には本学会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。ごぞいます。

新型コロナの感染が昨年以上に猛威を広げておりますが、2021年度の大会はリモート開催とすることで過日無事に終えることができ、併せて会誌19・20号の合併号を発刊することができ、皆様にお届けできました。関係者一同より会員の皆様のご助力に対し、重ねて御礼申し上げます。

さて、ここで皆様にお詫びと訂正のご連絡です。既にご承知の通り、昨年（2020年）は新型コロナの感染により学会大会の開催を見送ったことで会誌の発行が滞りました。そこで、投稿いただきました論文等については審査終了後に本学会のHPにて公表の形を取らせていただき、引用等で参照いただく際にはHP掲載での会誌No19およびページ番号を利用いただいております。しかしながら19・20号の合併号として冊子を発行いたしました際に受理月日の整理や論文種の配列を整えましたことで掲載ページが大きく変更となりました。既に引用等でご利用頂いている可能性も否めない状況ですので、掲載元不明等の齟齬が生じ、公表済み原稿の著者に不利益が生じる可能性が否めません。そこでHPでの公表では旧の会誌Noおよび掲載ページの記載と冊子体として発行されました合併号でのNoおよび掲載ページを併せて掲載するように修正いたしました。複雑な表記となりましたが、原稿のPDF等が単独で利用されることも多々あるかと存じますので、それぞれに二重の会誌番号、ページの記載を説明する形としておりますことをご理解いただきますよう、お願いいたします。

今後の引用等での参照には冊子体の号Noおよび掲載ページをご利用頂けますれば幸いです。公表済み原稿の著者各位にはご面倒な対応となりましたこと重ねてお詫び申し上げます。最終的な修正の一覧は別表にお示しする通りですので、ご参照ください。

会員の皆様には会誌21号への掲載を願い出られている投稿原稿2件を受領しております。本学会の設立趣旨では広く畜産業を取り巻く、畜産環境のあらゆる問題に取り組まれた業績の公表等に役立てることとなっております。そして、投稿原稿は原著に限らず、短報、研究ノート、解説記事、技術講座と多岐に及びますので、お手元で未公表の原稿がございましたら、積極的なご投稿を検討いただき、学会のますますの発展にご協力賜りますようお願いいたします。

末筆となりましたが、会員の皆様の益々のご活躍を祈念いたします。

敬具

2021年8月吉日
日本畜産環境学会編集委員会